

## 県連 50 周年集中山行) 三郡山・山の神・金毘羅山・城山山行報告

平成 28 年 2 月 10 日  
ちば山の会) 記録) 田中孝平

(山 域) : 房総半島(房州)

(コース) : 三郡山 345m・山の神 347m・金毘羅山 208m・城山 183m

(日 時) : 平成 28 年 2 月 6 日(土) [三郡山・山の神]  
平成 28 年 2 月 7 日(日)[金毘羅山・城山]

(天 候) : 6 日) 晴れ

7 日) 曇りのち晴れ (冷たい風)

(参加者) : CL 田中・SL 柘植・小倉・村尾・上茂・石橋・小俣・鈴木 (憲)・鈴木 (愛)

(山行タイム) : 6 日) 市原 (田中宅) 発 6:30⇒高速鋸南保田 IC⇒34 号線⇒長狭十字路⇒410 号線⇒豊英地区 (尾崎) 農産物直売所駐車場 8:20 着⇒長狭側 (旧道入口) 下山地へ車 1 台回送⇒ (尾崎) 農産物直売所駐車場へ戻り登山開始 9:05~三郡山山頂 10:45~横尾林道 11:00~山の神 11:27~山頂直下の横尾林道に最短距離下山 11:46~横尾林道戻り~横尾林道・安房高山の林道分岐~安房高山 11:23~林道 12:45~安房高山の分岐 12:52~長狭側下山地(410 号線・旧道入口)14:20⇒ (尾崎) 農産物直売所駐車場⇒清和県民の森[白壁の湯]入浴⇒長狭で夕食材買い出し⇒大山千枚田見学⇒大山青少年研修センター16:30 [朝食付宿泊 3500 円]

7 日) 宿 8:30⇒三芳村[夢の花館]付近⇒金毘羅山への道路 (琴平神社登路) 路肩の広い場所に駐車 9:10 登山開始~金毘羅山山頂 9:45 : 1005~海老敷方面の参道(登山道)へ下山~溜め池~右上の舗装道路(往路)目指して僅かな踏み跡を辿り直登~舗装道路(往路)~駐車場所 11:35⇒移動⇒おおつの里[花倶楽部]駐車場 11:10 登山開始~城山散策路~城山山頂 11:37~往路下山~駐車場 12:15⇒富浦 IC 付近で昼食の後に解散[各車毎に帰還する。] ⇒市原田中宅 15:00 着

(山行報告) : 6 日) 柘植車 5 人 (柘植・上茂・石橋・鈴木憲二・鈴木愛子) と村尾車 4 人 (村尾・小倉・小俣・田中) が集合場所の豊英ダム付近の尾崎に有る農産物直売所駐車場に少し早めに到着する。



[410 号線農産物直売所にて]



[道路を渡り細い道路に入る : 後方直売所]

下山地の長狭側の旧 410 線の分岐付近に村尾車を廻して駐車し柘植車で元の尾崎に戻り、直売所前の 410 号線道路の反対側に有る舗装された細い道に入り登山を開始する。数分進むと造成した台地上の所で道は無くなり、左下の斜面に僅かな踏み跡をたどると登山道となり、沢を渡り三郡山への本格的な登山となる。



[台地から沢に降りる手前風景]



[三郡山登路での休憩風景]

指導票とリボン及び踏み跡を選びながら房州の山にしては、中々登りがいのある山だね。と言いつつ登ると林間で見通しが効かない分岐を地図で確認しながら進むと林に囲まれた山頂にてた。

山頂では鹿野山から来たと言う年配の男性と話をすることがあり、この辺りの情報を得ながら、しばし話に花が咲く。(この方はその後、元の道を帰って行った。)

山頂からは郡界尾根の下に走る横尾林道に 15 分足らずで達してこの後は、山の神の直前まで林道歩きとなる。(林道には大きな轍や凸凹がありバイクやジープなど以外無理と思う。)



[三郡山山頂にて]



[横尾林道に出る]

20 分ほど進むと東葛山の会の Gr と出合い情報交換と挨拶をする。その情報で登山道の入口には赤テープが有るとの事、地形図を見ながら林道が大きく右にカーブして行く辺りにテープを見つけ、此処から山中の僅かな踏み跡を辿り山の神の石碑と木札のある山頂に達する。

しばし休憩の後に右下に林道のガードレールが見えるので前方右下に下る急な僅かな踏み跡を捜すと 1~2 本テープが見えるため最短ルートで林道に向かう。最後の道路への下りは切通しとなり嫌らしいのでロープとスリングをセットして慎重に林道に降り立った。

(下の広場には赤テープが有り登るには、灌木攀じりの切通し越えとなる。)



[山の神山頂にて]



[山の神石碑]



[山の神直下の林道と切通し]



[林道と広場]

横尾林道を元の三郡山入口まで戻り、此処から今回のノルマでは無いが、時間が有るので安房高山を目指して林道の安房高山分岐から安房高山山頂を往復する。



[安房高山林道分岐]



[安房高山山頂にて]



[安房高山登山口]

再び元の分岐まで戻り 410 号線の旧道を長狭側の新 410 号線の分岐(駐車)にたどり着き、本日の登山を終了する。(回送してあった村尾車にて柘植車を回収して全員が乗り込む。)

この後は清和県民の森近くの白壁の湯につかり途中のスーパーにて夕食食材を購入し大山千枚田を見学のあと大山研修センターに着き、宿では「ちば山」の仲間と楽しいひと時を共に過ごした。



[旧 410 線入口：車を停める。]



[大山千枚田]

7日) 宿を 8:30 に出発し一路、金毘羅山の麓の「道の駅鄙の里」の近くに有る夢の花館の駐車場を目指して行くが駐車場が狭く気が引けたので、すぐ上に有る登山口看板のある舗装道路を進み途中の広い所に車を停めて、ここから登山を開始する。山頂付近まで舗装されて、車が通れる車道を早咲きの河津さくら（房州では頼朝さくらと言う。）を眺めながら山頂の琴平神社まで舗装の道を行く事に成った。（琴平神社の参拝用道路であろう。）



[体操です。]



[金毘羅参りスタート]



[金毘羅山琴平神社入口]



[金毘羅山山頂にて]

山頂からは館山湾・大島・太平洋が望まれ見事な景色が展開していた。（圧巻である。）  
下山は神社南側鳥居跡をくぐり左下の海老敷方面に少し荒れた登山道を下山することにした、赤旗に導かれ溜め池まで下り、堤の上を渡り、此处から右上の往路の道路目指して、測量基準杭付近から僅かな赤旗と踏み跡を頼りに往路の道路まで急登（藪こき）を行い、道路にでてからは元の車置き場まで往路を戻る。



[山頂からの館山湾風景]



[海老敷への下山路]



[溜め池]



[往路（道路へ詰める）]

この次には残り 1 山の城山を目指して車で移動、富浦 IC 付近より「おおつの里」駐車場に向かい駐車後に城山散策路の標識に沿って登山を開始する。



[道の駅おおつの里]



[宮本城址散策路へ]

水仙の名残のような花を眺めつつ、行く手に見える山頂らしきところを目指し歩いて行く。集落の中を通り急坂を登りミカン畑（すっぱそうな）を横目に最後の登りを寅ノブに導かれ、山頂に達する。

ここが里見氏の城跡で哀れにも城主が此処で果てたとの表札があり、皆で戦国の彼方に思いを巡らした。

山頂は館山湾を一望でき、とても良いところであった。下山は往路をひたすら降りて駐車場に戻り今回の全日程を終了した。



[宮本城址にて]



[館山湾を望む]



[文化財の看板]



[全行程：終了] お疲れ様。

帰途は富浦 IC 近くの漁師食堂で地魚に舌ツツミを打ち、それぞれの車で帰途についた。



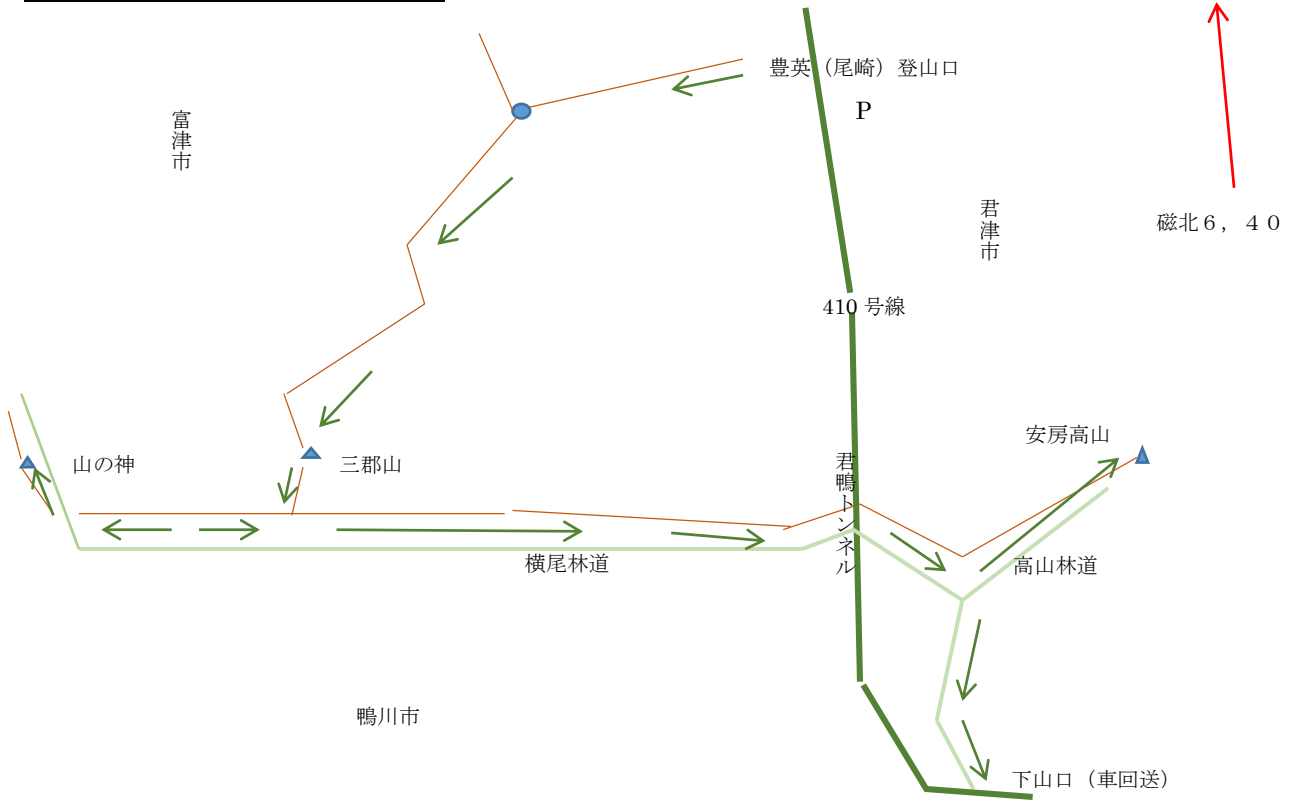
[番外：春の香り]



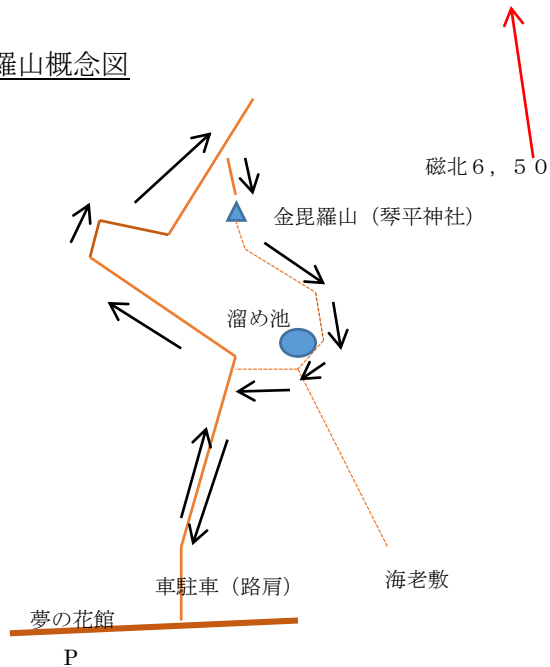
[番外：春の色 頼朝さくら]

**お礼**：今回の山行におけるルートプランを練る際に「ふあくハイキングサークル」並びに「君津ケルン山の会」の先輩諸氏の皆さんにアドバイスと資料提供を頂きました。心よりお礼を申し上げます。(ちば山の会：田中)

三郡山～山の神～安房高山概念図



金毘羅山概念図



城山概念図 (城山散策路)

